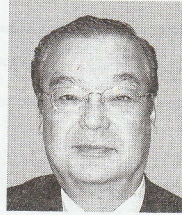


モス
ウェブ

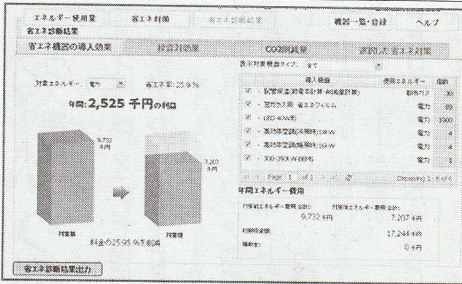
省エネ診断クラウドサービス第2弾

来秋までに3000社獲得へ



田代 社長

【福岡】ソフト開発のコスモウェブ(福岡市博多区)は、省エネ機器販売支援クラウドサービス「省エネ診断ドクターe パージョン2」を3月1日に発売した。タブレット端末やパソコンで建物全体の省エネ診断が可能で、結果に応じて様々な対策を支援できる。「タブレット端末で建物全体の省エネ効果をほぼリアルタイムに診断できるのは日本初」(田代登志雄社長)と特徴を語る。電気、重油、都市ガス、LPG、熱、水道な



省エネ機器導入効果が一目で分かる画面イメージ

きる省エネ機器数や、グラフ表示などを大幅に改良した。空調をはじめ太陽光発電やLED照明、蓄電池など、省エネ関連機器販売会社やエネルギー供給会社、企業向け省エネ診断サービス提供会社など対象になる。

どの使用量を、見える化し、業種と建物の規模を選択すると、標準的なエネルギー使用量を自動的にタブレット端末やパソコンで表示する。約3分で省エネ診断できるため、その場で顧客へ省エネ機器を提案することが可能だ。第2弾は、一括入力での導入実績は100ユーザーだった。第2弾は、15年9月までに10社3千ユーザーの獲得を目指す。